

月刊 まち・コミ 2009年3・4月号

● インフォメーション ● <http://park15.wakwak.com/~m-comi/>



● 今月の注目記事 ● P1～P5 まち・コミ活動報告と今年度の予定

まち・コミ 活動報告と今年度の予定

昨年度も、みなさんには大変お世話になり、ありがとうございました。簡単ではありますが、活動の報告と、今年度の予定をお知らせいたします。応援よろしくおねがいいたします。



08年7月10日海外研修受入（JICA 地方自治体と市民社会組織との協働関係 日本NPOセンター）

2008年度を振り返って

1996年のまち・コミュニケーション（以下まち・コミ）設立から13年。阪神・淡路大震災の現場で地域の人々と共にまちづくりに取り組んでまいりました。活動する中で、悩んだことが、まち・コミが寄り添いながら、地域で社会生活を営む人が、地域社会への当事者性を持ち、自分たちの力で、地域の未来のために取り組めるようにするにはどうしたら良いかということ。地域の人々が、自分自身の周囲の環境やまちに興味を持ち実際に行動できる環境をつくることを目的にまち・コミは活動してきました。現在に至るまで、多くの地域の方とまちづくりに取り組んでまいりました。

2009年度は、各地域での活動を継続します。

また2009年度は特に、これまで過程を振り返り、具体的に記録し、表現できるように記録します。どのように当事者性を持てたのか、また持てなかったのかを表現し、これからの当団体の活動に生かしていくと共に、他のまちの方も生かせるように発信していきます。

これまでの活動については、団体ホームページでもリアルタイムでご報告していますので、ご参照ください。

各事業の報告と予定

1. 被災地まちづくり支援事業

1-1. 神戸市長田区御蔵通

阪神・淡路大震災で甚大な被害を受けた神戸市長田区御蔵通5・6丁目の復興まちづくりを「住民と共に取り組む」支援をしてきました。

解散から1年8ヶ月ぶりとなる2008年12月に、有志が振り返りの会を催しました。有志から「記録をつくり、復興まちづくりのことを、他のまちへ伝えたい」という積極的な意見がでました。

1-2. 兵庫県豊岡市出石町鳥居

(市民農園再建交流事業 2007年8・9月号参照)

2004年の台風23号より、出石川が決壊するという被害にあった、兵庫県豊岡市出石町鳥居地区で、2005年2月より、被害を受けた市民農園予定地(なんと3,000平方m強)を借り、農作業に取り組んでいます。市民農園がオープンした現在も、地域住民や農園利用者等とともに資源を発掘し、そして生かし、復興活動だけで終わることなく、地域活性化のために工夫しながら「コミュニティの持続的な発展を支援すること」に取り組んでいます。

2008年度は、活動日数33日参加人数178人(2007年度69日207名)と作業効率をあげることができ、



09年3月29日 出石市民農園に神奈川から専修大学生が参加。後方中央は、農作業をご指導してくださっている廣井昌利さん。

収穫の時は夜暗くなるまでかかりますが、それ以外は余裕が出てきました。その時間を、鳥居の方とますますのコミュニケーションがとれるような時間にしたいと思っています。

1-3. 台湾

(台日交流古民家移築事業 2007年3、4月号参照)

神戸市長田区御蔵地区の、地域住民と外部支援者2,000名が共に汗を流し建設した古民家移築集会所完成(2004年1月)の後、2000年から交流の続く台湾(1999年集集大地震)の方とも、国を越えて台湾で共に汗を流し古民家を建設しようと台日交流古民家移築事業を行っています。

2004年8月に福井県大飯町郡おおい町にある作家の水上勉氏の父が棟梁として建てた築90年の民家を解体し部材は台湾で保管され、建設の時を待っています。解体から3年7ヶ月の月日が経ち、2008年3月8日には、解体を手伝ってくれた学生が卒業していくため、御蔵の古民家集会所で、「古民家(大飯解体)学生同窓会」が持たれました。

2008年8月にようやく土地の決定し、古民家の贈呈式を行いました。

秋には、水上勉氏の長男窪島誠一郎氏(無言館館長)と、作家陳瞬臣氏から応援の承諾を得ました。

11月5日に建設予定地である淡水鎮役所の皆さまが御蔵の古民家移築集会所を訪れ、交流会をしました。募金のため、台湾同郷会(在日)や、日系企業の方等ともお会いしています。

2009年度は、春から敷地整備工事も始まり、建設を始める予定です。

交流に向けて、2008年10月30日から、中国語の教室も行っています。(参加者募集中!)

おかげさまで台日のマスコミの方にも取り上げてもらっています。

<http://machicomi.blog42.fc2.com/blog-category-2.html>

たまねぎ応援よろしくお祈いします!

2008年より、2009年は、栽培の作業上達のため、たまねぎを値下げできました!

(同封のチラシ参照)

2. 平常時まちづくり支援事業

2-2. インドコバラム村

西村祐子駒澤大学教授が、南インドチェンナイの南にあるコバラム村でのバイオトイレ建設を通じた地域活性化事業。記録の作成、村の住民や日本からの学生へ地域活動を行うための説明の繋ぎ役を依頼されました。2009年3月には、コンクリート作業の写真記録、費用の算出、行程表や、地域の様子を地図にプロットしました。地域の方に少しでも地域の事がわかりやすくなるように、作業をしました。

3. まちづくり調査研究事業

3-1. 御蔵地区復興まちづくり研究

「復興まちづくりは何だったのか」を記録、検証し、これからのまちづくりに活かせる研究活動を行っています。

2008年度は、「御蔵西地区再建状況～震災から5000日～(月刊まち・コミ2008年10月号)」、「年表(2004年7月～2006年12月(月刊まち・コミ2008年11月号)」、「年表2007年1月～2008年3月(月刊まち・コミ2008年11月号)」を公表しました。

専修大学の学生や独立行政法人防災科学技術研究所とも協力し、住民へ、「生活再建14年間と今」の聞き取り記録も進めています。専修大学、神戸大学、兵庫県立大学の学生の論文作成へも協力しました。



09年3月26日 専修大学調査報告書を協力者へ手渡し

平常時まちづくり支援事業東大阪地区振り返って

復興まちづくりから学んだことを他地域へも活かすため、2004年秋から、東大阪市若江・岩田・瓜生堂地区周辺の防災まちづくり活動の支援にNPO法人大阪・夢・まち案内人と共に取り組みました。まち・コミにとっては、御蔵以外の新しい現場に事務所を初めて設けての挑戦です。

そこで、地域住民はもとより、近畿大学の小島先生始め近畿大学の学生や、多くの関係者の方に協力していただき、地域住民の聞き取りに始まり防災勉強会や学生の地域への設計提案等を行いました。

現在は、外部支援者と組んだ、自発的活動になかなか結びつかずにいます。

地域住民は、防災まちづくりの重要性は理解しています。外部支援者と組んで何ができるかのリアリティーを、出す段取りがまち・コミとしてできなかったと思います。

常駐やイベント等をたくさん御蔵地区でもしてきましたが、地域の自発性をどのように引き出していたかの、明確な技術を実感できていなかったように思います。

東大阪地区での取り組みは詳細は、<http://machi.comi.blog42.fc2.com/blog-category-6.html>

活動全体を通じて

これまで多くの活動をして来ましたが、常に手探りで、振返りの視点も明確ではありませんでした。今後まちづくりを続けていくための技術の向上のため、参加型開発研究所とソムニードのマスターファシリテーター養成講座(基礎コース、上級コース)に参加しました。「何回しても同じように出来るのが技術である」、「当事者にあったStep by Stepで進むこと」、「記録の大切さ」等多くの事を実践と理論で学びました。



09年2月22日高津宮にてリレートーク出演

4 まちづくり研修事業

4 - 1 . 外部講演 (計19回)

講演テーマや内容が、

1) 地域組織のリーダーとして、もしくは、住民の状況、地域づくり住民当事者の場合は、顧問田中保三

2) 外部支援者、NPO、ファシリテーターの場合は、まち・コミスタッフということで外部講演を行っています。

2008年

4月30日：神戸国際大学外部講師

5月19日：大阪大学地球総合学科大学院授業講義

6月27日：日本大学生産工学部

6月27日：船橋市宮本自治会

7月6日：名古屋市昭和区防災街づくり講座「阪神・淡路大震災における実体験から学ぶ」

9月10日：三田市立高齢者大学ボランティアコース

10月4日：彦根大東町自治会講演

11月9日：三河安城市講演

11月23日：「いま「協同」を拓く2008全国集会 in 新潟」

11月29日：防災てらまちウォーク講演(三帰会主催)

12月7日：「災害に強いまちを目指して～地域の安全は誰が守る？見直そう地域の力～(さいたま市市民活動サポートセンター)

2009年

1月15日：兵庫県自治研修所職員研修「現場から見た地域づくり」の進め方パネリスト

1月15日：開館15周年記念フォーラム「まちづくりの若き担い手、おいに語る」(こうべまちづくり会館/いきいき下町推進協議会)

2月13日：長田南小で昔の遊び指導

2月14日：高槻市コミュニティ活動推進研修会

2月20日：減災キャラバン on 上町台地リレートーク「避難所の覚悟～避難してくる被災者への向き合い方 in 高津宮」

2月28日：大阪の卸屋社員研修

3月20日：急がれる復興制度の備え - 未曾有の不況と現代の災害 - (『世界と日本の災害復興ガイド』出版記念シンポジウム)

4 - 2 . 各種団体受入 (計27回)

2008年

6月4日：人と防災未来センター マネジメントコース：ベーシック

7月10日：JICA研修「地方自治体と市民社会組織との協働関係(特定非営利活動法人日本NPOセンター)

7月28日～30日 専修大学文学部人文学科社会学専攻「社会調査論・実習 / (担当教員：大矢根淳教授)受入

8月29日：大阪府市町村社協職員連絡協議会

9月9日：京都大学「国際交流科目「復興」から学ぶ 21世紀の防災と環境」受入

9月10日：Paul de Coudenhove (フランスから)

10月3日：共生会(愛知県小牧市)受入

10月13日：ドイツ・オーストリア・ハンガリーの建築・都市計画家(26名)受入

10月17日：大阪経済大学中小企業経営研究所・東アジアグループ&学生、劉世慶教授(四川省社会科学院西部大開発研究中心秘書長)受入

10月30日：渡辺正幸氏受入(国際社会開発協力研究所 代表取締役社長)

11月5日：淡水鎮役所視察受入

11月26日：山口県曹洞宗宗務所人権擁護推進委員

11月26日：JICA研修平成20年度中米地域防災対策コース(コスタリカ・エルサルバドル・グアテマラ・ホンジュラス・メキシコ)受入「地域防災対策」(神

戸まちづくり研究所)

11月28日：岡山看護学校

12月2日：「JICA-NGO連携による実践的参加型地域開発コース(A)」JICA研修(研修員：下記8ヶ国の現地NGO職員(または現地NGOと連携しつつ地域開発を担当する政府機関等の職員)約10名(ケニア、アフガニスタン、ソロモン、ウガンダ、ブータン、トンガ、ドミニカ共和国、フィリピン)(アジアボランティアセンター)

12月4日：あいあいネット(インドネシアより、ロマ氏、ファミリー氏)

12月6日：「こうべまちづくり学校」専修講座まち歩き実践ゼミ受入

12月16日：黄明川氏(國家文化藝術基金會会長)受
2009年



08年8月29日大阪府社協研修受入

1月11日：『こうべ(あい)ウォーク2009(主催/こうべあいウォーク2009実行委員会)』受入

1月13日～17日：小泉君(静岡大学)御蔵インターンシップ

1月16日：山古志村支援委員受入

1月26日：Charles E. Allen氏受入(ニューオリンズから)

2月9日：都市再生機構団地再生勉強会受入

2月25日：大津市まちなか交流館視察受入

3月5日：西成区弘治地域まちづくり研究会メンバー受入

3月19日：貝塚市社会福祉協議会ボランティアセンター

4-3. 修学旅行生の受け入れ(17校)

修学旅行生の震災学習を語り部有志の皆様として
います。

4月25日：石川県金沢市立額中学校

5月9日：富山県富山市立和合中学校

5月18日：高知県大津小学校

5月21日：山口県周南市立熊毛中学校

5月27日：神奈川県秦野市立南中学校

6月5日：岐阜県可児市立蘇南中学校

6月9日：東京都調布市立第八中学校

6月10日：愛知県名古屋市立牧の池中学校

6月10日：神奈川県横浜市立市場中学校

6月12日：岐阜県岐阜市立藍川北中学校

6月19日：神奈川県横浜市立泉が丘中学校

6月22日：神奈川県秦野市立渋沢中学校

9月10日：栃木県鹿沼市立東中学校

9月18日：岐阜県岐阜市立加納中学校

9月30日：静岡県立浜名高等学校

10月30日：埼玉県埼玉県立滑川総合高等学校

11月13日：岡山県岡山市立藤田中学校

11月19日：兵庫県宍粟市立一宮南中学校

4-4. 御蔵学校

まち・コミのPRポイントを探るための記録作成中
のため、施行できませでした。

5 情報発信事業

5-1. 月刊まち・コミ

08年度号の発行は、3・4月号、5・6月号、7月号、8月号、9月号、10月号、11月号、12月号、1月号、2月号、3・4月号でした。

5-2. Webまち・コミ

記録づくりと発信のため、ブログの更新をしています。(月平均10回更新中)

6 地域間交流事業

語り部のみなさんと、被災地交流をしたいと予定
しています。

まち・コミ活動報告

2/1 ~ 3/31

- | | | |
|--------------------------------------|---------------------------|--------------------|
| 2/2 3/5弘治地域研修受入打合せ | 2/21 震災学習語り部勉強会 | ティアセンター研修受け入れ |
| 2/9 公団団地再生勉強会の打合せ | (神戸市埋蔵文化センター視察) | 3/20 「世界と日本の復興ガイド」 |
| 2/11 古民家建設予定地の御祓い式 | 2/23 長田区民まちづくり会議出席 | 出版記念講演(田中) |
| 2/11・18・25 マスターファシリテーター養成講座(基礎コース関西) | 2/23 まち・コミ運営委員会 | 3/21 観音寺参り |
| 2/11 震災体験学習下見(緑陽中) | 2/25 大津市まちなか交流館視察受入 | 3/22 ~ 25 邱氏来日 |
| 2/14 平成20年度高槻市コミュニティ活動推進研修会講演 | 3/1 出石市民農園 | 3/26 ~ 29 専修大学生来御蔵 |
| 2/17 関東都市学会発送作業 | 3/5 西成区弘治地域まちづくり研究会メンバー受入 | 3/29 出石市民農園 |
| 2/20 高津宮で講演(田中) | 3/9 インド行き(宮定) | 3/30 トミオモリグチさん来神戸 |
| | 3/19 貝塚市社会福祉協議会ボラン | 3/31 防災科学研究所調査打合せ |

ご支援、ありがとうございます。

2/1 ~ 3/31

賛助会員(新規・継続)

渡戸一郎(東京都) 森敏昭(兵庫県) 池田清(兵庫県) 山内洋(東京都) 寺田孝(兵庫県) 安田正(兵庫県)
 服部隆志(大阪府) 中村實(東京都) 松宮勝彦(愛知県) 今田忠(大阪府) 藤村晴彦(兵庫県)
 弘本由香里(大阪府) (兵庫県) 有馬嗣朗(山口県) 河喜多勝(福岡県) 吉田昌(大阪府) 池田浩敬(静岡県)
 佐藤滋(東京都) 濱岡歳生(山口県)

寄付

協力

社団法人シャンティ国際ボランティア会(東京都) 株式会社兵庫商会(兵庫県) 【順不同・敬称略】

新規賛助会員募集&更新のお願い

まち・コミでは、さらに活発に活動を行うため、賛助会員を募集し、金銭面でのご支援をいただいております。会費は、事業推進のために活用させていただきます。賛助会員のみなさまには、会員特典をご用意しておりますので、ぜひ賛助会員への登録をお願いいたします。

また、賛助会員は1年更新とさせていただきます。現在賛助会員の方も時期がきましたら、更新をお願いいたします。(期限は「月刊まち・コミ」郵送時の封筒の、宛名の下に記載していますので、ご確認ください。)

会員特典

本誌「月刊まち・コミ」の送付。

まち・コミュニケーションに関する、Eメールでの情報送付、WEBの特別ページの参照

よろしくおねがいいたします。

編集後記 まち・コミのブログを、宮定がせっせと更新しています。リアルタイムで活動報告しておりますので、ぜひご覧ください。まち・コミホームページからどうぞ。(戸)

年会費

個人・法人 年間5000円
 学生 年間3000円

郵便振替口座番号

00950-3-42788

口座名称

「まち・コミュニケーション事務局」

2009年5月1日発行	
編集/発行 まち・コミュニケーション	
定価 100円	
御蔵事務所	〒653-0014
神戸市長田区御蔵通5-5	
TEL 078-578-1100 / FAX 078-576-7961	
東京事務所	〒162-0052
東京都新宿区戸山1-24-1	
早稲田大学文学部浦野研究室内	
神奈川事務所	〒214-8580
神奈川県川崎市多摩区東三田2丁目1-1	
専修大学文学部大矢根研究室内	
e-mail m-comi@bj.wakwak.com	
URL http://park15.wakwak.com/~m-comi/	